

『なかま』は中野区青少年育成
上高田地区委員会の広報紙です



優勝チーム



個人賞



ホールインワン賞

も。ホールが進むにつれ、コ
ツを掴んだ子どもたちの上達
の早さにはとても驚かされま
した。「すごい！」「ナイス
ショット」と拍手をしたり「あ



今年大会も大勢の親子連
れが集まりました。12月とは
思えない暖かさの中、半袖短
パンの元気な子どもの姿も。
開会式、ルール説明、注意
事項の後、ボールの打ち方を
練習する姿は既に真剣です。
早速、各々の班に分かれプ
レー開始。障害物のある難
コースに、度胸のある一打で
突破する子、思うように距離
が飛ばず苦戦する子、プレー
の合間に練習に励む親子の姿

と少しだったね」と声をかけ
合ったり。
低学年は親子ペアで交互に
打つので「次、絶対に決めてね」
と、子どもからの声かけにプ
レッシャーを受けながら奮闘
する大人たちの姿が微笑まし
かったです。



スポーツ大会 グラウンドゴルフ大会

12月10日(日)

38名参加
白根小学校校庭



当日はあいにくの雨模様で
したが、会場は親子連れで
いっぱいになりました。
受付後に班に分かれ、まず
は作り方の説明です。工程は、
色とりどりのビーズやラメを
円筒の容器に入れ、洗濯糊を
水で薄めた液を注ぎ、ライト
が接続された蓋で閉じて完成
です。難しいライト部分の工
作は、委員長自ら子どもたち
のために、あらかじめ用意し
てくれました。部屋を暗くし
て、綺麗なライトに「わあー」と
歓声があがりました。
子どもたちは始めに、好み
のビーズやラメを選びます。
ハートやフルーツの形をした



珍しいビーズに目移りしなが
ら好みの組み合わせを作るこ
とに夢中です。選り終えたら
容器に入れ、液で満たし、最後
に容器とライトと合体させて
完成！
友だちと見せ合いながら、
ポーズを決めたり、天井や壁
に光を当ててみたり、とても
嬉しそうでした。新たなアイ
ディアが湧いて「もう一個作
りたい！」「言う声や」お母さ
んにも作ってあげたい」など
優しい声も聞こえました。
最後は自慢のステイックラ
イトを振りながら全員で記念
撮影をし、楽しい工作になり
ました。



区内の児童館を3つの類型に移行します

中野区児童館運営・整備推進計画の策定について 細野 修一 課長

区は、子どもと子育て家庭を取り巻く福祉
的課題や、多様なニーズへの対応を図り児童
館の機能強化等を円滑に進めるとともに、計
画的な施設更新を実現するため「中野区児童
館運営・整備推進計画」の策定を進めています。

取組の方向性

- ◆児童館の機能強化の推進
- ◆子ども・保護者等のニーズを捉えた運営の改善
- ◆福祉的課題への対応強化
- ◆民間活力の活用
- ◆専門性を持った職員の育成・配置
- ◆計画的な施設更新の推進

児童館（ふれあいの家を含む）は、他施設
への転用とするのではなく、児童厚生施設と
して、これまで児童館が果たしてきた機能・
役割を基礎とし、地域の見守り・ネットワー
ク・相談支援機能、乳幼児親子向けの機能、
中高生世代向けの機能の強化を進めるため、
三つの類型に移行します。

令和7年度より 18館の児童館を 3つの類型に移行

- ①基幹型 ～中学校区に1館～
(区内9館)
- ②乳幼児機能強化型
(区内8館)
- ③中高生機能強化型
(区内1館)

第五中学校区の児童館

新井薬師児童館は「乳幼児機能強化型」

これまでの児童館が果たしてきた機能・役割に加え、
特に乳幼児親子を対象とした事業を強化した運営を行
います。運営については、民間事業者に委託すること
を予定しています。事業者の乳幼児親子向け事業のノ
ウハウを活用した運営を行うことで、魅力ある居場所
づくりを目指します。なお、基幹型児童館の職員によ
る巡回・支援を行っていきます。



新井薬師児童館の外観

上高田児童館は「基幹型」

地域の身近な子どもの居場所・遊び場・交流の場であ
るとともに、地域の子育て・子育ての拠点であり、
第五中学校区内の地域子ども施設との連携において中
心的な役割を担います。区職員により運営し、福祉的
課題への対応、地域連携の促進への取り組みを強化し
ます。



上高田児童館の外観



ミニリーダー講習会

- ミニリーダー 5つの約束
- ★元気にあいさつをしよう！
 - ★人の話は静かに聞こう！
 - ★友だちをいっぱい作ろう！
 - ★最後までやりとげよう！
 - ★約束は守ろう！

第三回講習会 「科学技術館」

10月15日(日) 23名参加
千代田区

冷たい秋雨の降る中、九段下の「科学技術館」の見学に行ってきた。傘やカッパを着ての移動でしたが、子どもたちは感心するほどきれいな列を作っていました。



施設では他の団体も多く、混み合う中で班ごとに分かれて見学スタート。2階から5階までの4つのフロアに約20のテーマの展示室があり、展示物を見るだけでなく、触ったり、動かしたりしながら科学や技術に触れることができます。初めは静かに見学していた子どもたち。時間が経つにつれ、興味のままだに積極的に体験を楽しんでいました。巨大ピアノや地震体験装置、大きなシャボン玉の中に入ったり、バイクや自動車、大型トラック等のシミュレーターに乗ったり、沢山の体験をしました。

子どもたちは混み合う中でも順番を守り、譲り合いをしながら、周囲への気づかいもすっかりできていました。



施設が広いので、お昼の時間にはみんなヘトヘト。待ちに待ったお弁当の後は、おやつ交換も楽しんでいました。



帰り道もきちんと整列しながら、無事に集合場所へ到着。委員長からは「大変お行儀が良かった」との評価でした。「疲れたけど、楽しかった!」「また行ってみたい」との声が聞こえました。



第四回講習会 「昭和記念公園」

11月12日(日) 13名参加
立川市

この秋一番の寒さの中、国営昭和記念公園に行ってきた。企画当初、加治丘陵に実地に行きましたが、付近で熊の目撃情報があったため、予定を変更しました。

新井薬師前駅で五つの約束の唱和の後、曾根育成部長よりNGワード、OKワードが発表されると、何故か子どもたちの顔に笑いがこぼれていました。



今回の講習の目的は「団体行動を通してマナーを学ぶ。広々とした場所での思い切り身体を動かす」です。公園に向かう道路では列を乱さず歩く姿には感心しました。五班に分かれての行動でしたが、班ごとにみんな同じ遊具で遊ぶのが約束です。「次はあっちに行こうよ!」と誰かが言うと、名残り惜しく思っても切り替えて移動して楽しそうに遊んでいました。今回の講習会の目的達成ですが、残り二回の講習会ですが、彼らにとって素晴らしい体験が財産になることを楽しみにしています。



第五回講習会 「アムステルダム」

12月10日(日) 26名参加
白桜小学校校庭

12月とは思えぬ陽気の中、グラウンドゴルフ大会が開催されました。26人の子どもたちが集まり、大きな声で挨拶。その後、ルールと注意事項を確認し、ラウンド開始。



優勝チーム

初めて体験する子たちには戸惑いも見られましたが、小学校の校庭を活かしたコース設定に、四苦八苦しながらも満面の笑みでプレーをしていました。打ったボールを追ってすぐに走り出す姿は子どもならではの。自分のことだけでなく、友だちのナイスショットを喜び、チヨロしてもごまかさずにカウントする姿勢は、まさに紳士淑女のスポーツを体現していました。



ラウンド終了後には「もっとやりたかった」「頭を使って疲れた」と様々な感想が飛び交っていました。普段なかなか体験できないスポーツを全身で楽しんでいる子どもたちの姿が印象的でした。



個人賞

第六回講習会 調理実習・スイーツ作り

2月4日(日) 23名参加
上高田区民活動センター

うつつらとみぞれが降る中今年度最後の講習会が行われました。調理実習と会食が開催できるのは5年ぶりです。

まずは上級生が入念に手を洗い手順を確認し、全員分の白玉とパンケーキを作り始めます。並行して低学年は、一年間の活動を思い思いに振り返りながら作文を書きます。



白玉は手に乗せていると質感が変化し、柔らかくなるので、手際よく成形しお湯の中に落とし作っていきます。

パンケーキ作りは根気と度胸が試されます。「ぶつぶつはまたかな?」と待ちながらいざ裏返し。躊躇していると焦げてしまいます。「料理は



閉講式

2月4日(日) 23名参加
上高田区民活動センター

調理実習の後は令和5年度ミニリーダー講習会の閉講式が行われました。

白桜小の副校長先生や上高田東町会の酒井会長や育成者に見守られながら、委員長より修了証を一人ずつ授与されました。皆勤賞や特別賞には愛情のこもった金のメダルや、プレゼントが贈呈され誇らしげな子どもたちでした。

副校長先生のお話の中にもあったように、知り合い・地域の繋がりは、これから起こり得るいざという時にも力を発揮します。ミニリーダーの経験を通し、地域に仲間を増やし、故郷を愛し支える人になってくれたら嬉しいなと思います。

